

NPO 法人岡崎がくどうの会

2022年度 学童保育指導員研修 レポート

【クラブ】（ なかよしクラブ ）

【名前】（ 吉川 美里 ）

① 研修名 （ 基礎研修 「演劇論」～コミュニケーションの実際～ ）

② 心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

演劇というものを全く理解していない素人ということもあって、うりんこという有名なプロの劇団の講師のかたのお話を聞かせていただき、学童保育に役立てる何かを是非勉強させていただきたいと思い、受講させていただきました。講師の原田先生はうりんこの劇団団長を長く務め、今もフリーで役者をやっているそうです。話し始めた時に、演技のせりふが演技とは思えなくて驚きました。

自分にとって経験のない初めての分野の研修で、事前に、動きやすい服装で！と連絡があったので、はりきって準備をし、ZOOM 参加だったので PC の前で立って構えていましたが、違いました。現地に来ている方が即興で短い劇を行い、表現を委ね、それを見て感想を言ったり勉強させていただく形となりました。

見ているほうは面白いと思って見ていたのですが、表現することは非常に大切であり難しくもありますが、交流によって心が開かれ、実は人の話を“聞く”ではなく、“聴く”ことがとても大切であると教えていただきました。

まずはジェスチャーゲームのような気軽に出来る遊びをいくつか教えていただきました。最初から予想外で、普段からもっと自分を解放して自由に表現して良いのだと思わせていただけました。何も立派な道具がなくても、コミュニケーション的なゲームを通して表現することで、面白さを共有出来たり、楽しむことが出来ることが分かりました。参考にして、出来ることから少しずつ子どもたちとやってみようと思いました。

“みんなで力を合わせること”でいつもと違った伝え方が出来ると感じました。

講師から演劇・表現は非日常というところが面白いと聞き、非日常なことを没頭して遊んでいた子どもの頃を思い出しました。学童でもそのような光景をよく見かけますが、子どもの時に 純粋に時間を忘れて没頭出来る遊びや時間を大切にしていかなければいけないと思いました。子どもたちには“今”この時期を大切に、思いっきり楽しんでもらえるといいと思っています。

面白い指導員がいるとみんなの心が和むように、やはり“楽しむこと”もベースにおいて、保育していくことは大切であると感じた研修でした。